

# 災害時の情報提供、どう進める

## 町長 屋外拡声器、緊急メールのほか、人的伝達の協力も得ながら



議員 渡部善美

### 警鐘台の状況は

**問** 警鐘台が老朽化し、半鐘での災害伝達が困難なところもある。警鐘台の状況は。

**町長** 45台の警鐘台があるが、老朽化による倒壊の危険性があるものから順次撤去する。半鐘の移動は、可能な限り地元で対応していただきたい。低い位置への再設置に必要な資材については、町で準備する。

### 災害現場の状況を伝えるには

**問** 自主防災組織は全域に組織されているが、現場の状況をどのように伝達すればよいか。

**町長** 気象警報が発表された場合、早朝、深夜、祝祭日を問わず職員が配備される。役場庁舎には職員が駐在するため、直接もしくは自主防災組織を通して、電話で現場の状況を伝えていただきたい。

### ハザードマップの説明は

**問** ハザードマップの町民への説明の状況は。

**総務課長** 国土交通省や県の職員を講師に、荒砥地区、蚕桑地区、東根地区で説明会を開催した。

**問** 各区単位での説明会に対応可能か。

**総務課長** 国土交通省や県との調整は必要だが、各区単位の説明会も可能かと思う。自主防災組織の研修等で取り組んでいただきたい。

### どうする町民への情報提供

**問** 災害はいつ発生してもおかしくない。町民への情報提供をどのように進めるのか。

**町長** 屋外拡声器による音声が届きにくい状況もあるため、6月から、緊急メール



声がこもる・・・



高齢者への確実なる情報提供を

配信にも取り組んでいる。携帯電話等がない方は、町災害情報テレホンサービスに電話し情報を得ていただきたい。

**問** 高齢者単身世帯への情報提供は大きな課題である。対応は。

**総務課長** 自主防災組織や民生児童委員に協力いただき、要配慮者の確認や情報の伝達等をお願いしたいと考えている。

### ため池の安全対策は

**問** 西日本豪雨をうけ、全国一斉にため池点検が実施された。今後の安全対策は。

**町長** 一斉点検に該当する5つのため池を点検した結果、当面の安全性に問題はなかった。その中で、御影沼は改修に向け、中丸ため池は廃止に向けて調査している。独自の点検も行いながら、安全確保に努めていく。